



# めでたか

清流を止まることなく、川上をめざして...

平成29年9月26日

第25号 発行

弊社UAVで撮影

## 優良工事等表彰式へ参加

【品質管理室 上原 史和】

平成29年7月24日に国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所様より「平成28年度 富士砂防技術資料作成業務」を対象に優良業務（法人・技術者）として事務所長表彰を受けました。

本業務は、公共工事に関する地元・関係機関協議用資料作成、技術資料とりまとめを行ったもので、今回の表彰内容は「資料のとりまとめを行うにあたり、効率的な現地調査方法を積極的に提案し、土石流発生後にはUAVを用いて発生状況をとおりまとめる等、迅速に対応し、良質な成果をとりまとめた。」として評価されました。



多種多様な資料作成が必要となることから3名の担当者を配置するとともに、社内の応援体制を確保しながら実施しました。  
2年前は優良業務の技術者として事務所長表彰を受けましたが、今回は法人のW受賞となり大変光栄なことに受け止めております。これは全社一丸となって業務を遂行した結果を認めていただいたものと思います。

これからも発注者の要望にこたえ、質な成果を納めていくよう努力する所存です。



平成29年度 優良工事等表彰式  
国土交通省 富士砂防事務所



# 橋梁点検社内研修会

【計画設計室 金森 俊介】

橋梁の老朽化が深刻となり点検作業が重要となってきたているなか、橋梁の知識を習得するため弊社講師による、第一回技術研修会(橋梁)を開催しました。

第一回の主題は「橋梁の基本」ということで、橋梁の基礎的な知識の習得を目的としたものでした。内容は、国内の橋梁数、橋梁の種類、橋梁の基準書と変遷についてなどでした。橋梁の種類では、トラス橋である富士川橋、ニールセンローゼ橋である蓬萊橋など、具体的に隣にある橋名が挙げられ、橋種と実際の形を一致させることができ容易に理解することができました。



私はまだ入社6ヶ月で土木の知識はかなり浅い状態であり、このような基礎内容から研修を開いていただくことは新たな知識の習得につながると思いました。また、ベテラン社員の方にとっても基礎事項を再確認する機会となり非常に有意義な研修会でありました。今後、上級者編まで継続して研修を行っていく予定が組み立てられており、これを機に橋梁の知識を広げ、業務に直接貢献できるように努めていきます。

# 施設台帳のシステム化

【計画設計室 立石 恒彦】

管理台帳を電子化し、タブレットでリアルタイムに更新できるシステムを開発。

近年、長寿命化対策という言葉をよく聞きます。道路・河川構造物など長年の利用により損傷することが懸念されているためです。過去に施工した既存の施設が老朽化する中、すべてを改築する予算も限られています。そのため橋梁・道路・河川・砂防施設などインフラ施設が破損する前に点検・診断作業することが重要となります。

それぞれ施設には管理台帳があり、設計条件や過去の損傷履歴など多くの情報を記載した図書）そこで、帳に図をリンクさせ電子化することにより、点検時の作業効率化や複数人で情報共有ができリアルタイムに施設の状況を把握できるようなシステムが作成できるようにしています。

①電子地図上に施設の位置を表示。

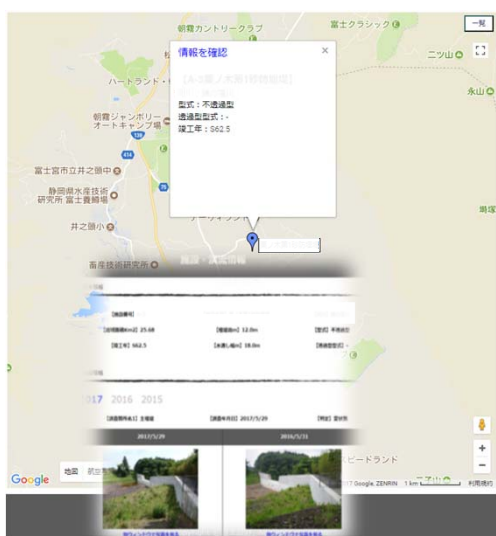
②誰でも施設へ行けるようにルート図も表示可能。

③リアルタイムで現場状況をデータに反映(画像)が可能。

④現場調査時に過去の履歴も確認が可能。

⑤現場ではタブレット、デスクではPCで同じデータを閲覧できるため施設管理者との情報共有が即時にできる。

これ以外にも、お客様のニーズに合わせ、より利用しやすいシステムの提案と構築をしていきたいと思います。



# カナダ渡航

【アイコンストラクシオン推進室 海野 敦司】

平成29年9月1日から10日間、3Dレーザー計測作業でカナダのノースウエスト準州フォートスミスに行って来ました。

今回の渡航で、4度目のカナダとなります。昨年同様、成田空港からカルガリーを経由してエローナイフへ：現地でレンタカーを借り3,039Km走破。最終的にフォートスミスに拠点を置き、広大なウッドバッファロー国立公園での調査を実施してきました。

今回も車両移動中に様々な動物と遭遇しました。



移動経路



バッファローに遭遇！！

滞在中には、10年振りの巨大な太陽フレアの影響でこれまでにないオーロラを見る貴重な体験をしました。今回は、カーテンのようにゆらゆら動く自然現象を目にはっきりと焼き付ける事ができました。

海外渡航は、苦勞も多いですが、計測資料が役立つことに誇りを持ち、日々の業務に従事して参ります。



人生2度目のオーロラ鑑賞



# UAV技術力向上研修

【アイコンストラクシオン推進室 原 寿徳】

平成29年8月23日から3日間、長野県の松川村でUAVの技術力向上のために講習に参加してきました。

今回は、当社が加盟しているULC（UAVレーザ共同体）の中から3社合同での研修です。

研修の内容は技術力向上のために、主に実機を用いた飛行訓練と座学による安全な運航・運用のための講義でした。

普段社内では小型のファントムですが、本講習では当社の機体より大きい訓練機のため操縦に慣れるまで、少時間掛かりました。

屋内外での飛行講習ではGPSを使わない方法で飛行しましたが、自分の思い通りにコントロールするには集中力が必要で、訓練後の疲労感はかなりありました。

中型・大型のUAVを運航するためには小型の機体よりも精度の高い操作や判断力が必要になることを知り、今回の研修で学んだことを生かす経験を積んでいきたいと思えます。



体育館の中での飛行訓練の様子

室内での座学の様子



また、講習で学んだ知識を社内と共有し、技術力向上が出来るように取り組んで行こうと思えます。



# 暗闇の防災訓練

【調査情報室 山田 喜一郎】

平成29年8月26日、災害が夜間に発生したことを想定した地区防災訓練に参加しました。

東日本大震災から6年がたちます。震災の4日後・3月15日には、富士宮市を震度6強の地震が襲いました。発生時間が22時31分ということもあり、その教訓から、朝行う防災訓練を夜やったらどうかと、私の住む地元民からの意見要望があり、今年の防災訓練は夜7時半から行うことになりました。

第一避難場所に集合して、班ごとに点呼をとり、各家庭の人数を把握するのに、昼間の訓練とは違い明らかに時間がかかりました。第二避難所までは400m程の移動ですが、集合場所の神社には階段もあり、懐中電灯で足元を照らし一段一段確認しながらの移動となりました。

現実に震災が起こった時には、道路の外灯は消え、まったくの暗闇となることが想定され、訓練以上に困難な状態となることは明らかだと思えます。

当地区初の試みで夜間の防災訓練を行ったことで、体験して気づく事が多く、経験して良かったと思えます。

余談ですが第一避難所に愛犬を連れて来た人もいて、ペットも家族だと思える微笑ましい光景も見つけられました。

機会があれば、みなさんの区でも、夜間の防災訓練を行ってみたいはいかがですか？【備えあれば憂いなし】



## ★ スタッフめだか ★

総務室の堺有加と申します。昨年2月に富士設計㈱に入社し、総務・経理の仕事に従事しております。弊社に来る前は、十数年間富士市内の会計事務所に勤務していました。経理のみやっていた頃と違い、仕事の幅がグッと広がり新たな知識が必要となる事も多々あり、とても勉強になっています。

私の趣味を紹介します。私の趣味は『お菓子作り』『掃除』と『筋トレ』です。小学生の頃、親に買ってもらったお菓子作りの本がきっかけでクッキーを作り始め、徐々に色々なものを作るようになり、今ではガトーショコラやチーズスフレ、アップルパイ等も作れるようになりました。お菓子を作っている時間はあま〜い香りに包まれとても幸せな気分になります。



筋トレは、1年程前からスポーツジムに通って頑張っています。デスクワークのため健康を考えて始めました。これから食欲の秋、運動したからと油断して食べすぎないように気を付けようと思います。よろしくお願い致します。

総務室 堺 有加

●ご意見・ご感想・ご質問など  
お気軽にご連絡ください。



本社 〒418-0022 静岡県富士宮市小泉468-1  
TEL 0544-26-5191 FAX 0544-26-8969  
<http://www.fujiarchitect.co.jp/>  
mail: fujisekkei@fujiarchitect.co.jp  
富士支店 TEL 0545-30-6466

〜編集局より〜  
今年の夏は、富士砂防事務所様より2度目の受賞を受けるという嬉しい出来事がありました。めだか25号では、当社が行った仕事や取り組みについて紹介しましたが、これからも地域に貢献していきたい企業であり続けるよう邁進してまいります。